

日本の地方組織による就学奨励グッドプラクティス(GP)の調査と

開発途上国への適用性検証

九州大学

小松太郎

1. 目的

国際的目標である「万人のための教育」(EFA)について、多くの開発途上国が2015年までの初等教育普遍化を達成出来ないとされている。一方で、地方分権化はローカル・レベルの関係者(行政、学校、市民組織等)に対し、就学奨励、そしてそれを実現させる上で必要不可欠な地域住民の学校関与について一層の努力と創意工夫を求めている。この点について、日本は、近代化・現代社会において地方のアクターがその地域の実状に合った様々な試みを行ってきた。そこで、本プロジェクトでは、日本の地方の GP(グッド・プラクティス)を抽出し、EFA 実務者がリソースとして利用可能なハンドブックにまとめる。

2. 活動

(1) ハンドブックの制作

- ① GP を 15 事例程度抽出し概要を執筆
- ② 開発途上国(パキスタン・ガーナ)にて、2~3の GP の適用性をカウンターパートと共に検証
- ③ 援助関係者と、ハンドブックの活用法について意見交換。ハンドブックを作成し、JICA 等関係団体に配布。国際協カイニシアティブ・ウェブに掲載

(2) ハンドブックの構成

ハンドブックの利用法 開発途上国の「万人のための教育」(EFA)を取り巻く環境 日本における基礎教育拡充の歴史・社会的背景 日本の地方における就学奨励と地域の学校参加 GPs

(3) GP の内容と対応する課題

- 例 課題:親の関心が低い・学校で学ぶ内容を知らない → GP1(運動会)GP2(学芸会)
例 課題:女子・女性が仕事のために教育を受けていない → GP5(製糸工場特別教育)

3. 成果

(1) 期待する成果

ハンドブックが利用されることにより、EFA 関係者にアイデアを提供し、開発途上国の EFA 実現を支援する。また、地方のアクターの創意工夫によってEFAが実現するというメッセージを発する。ハンドブックは和文でも制作されるため、日本人援助関係者が日本の経験を説明する場合にも利用される。ハンドブックはウェブで掲載されるため、参考になりそうな GP だけダウンロードして利用することが可能である

(2) 成果物

ハンドブック「日本の地方における EFA 施策(GP)集—子どもたちの就学奨励と地域コミュニティの学校関与」(英文70部、和文30部)

日本の地方組織による就学奨励グッドプラクティス(GP)の調査と開発途上国への適用性検証

九州大学

目的

日本の地方で実践された就学・コミュニティ参加奨励策を途上国に紹介し、「万人のための教育」(EFA)実現に向けて参考としてもらう

活動内容

1) 日本の地方で実践されてきた(GP)を抽出し執筆

GP「子守学校」



識字学級

女紅場教育

万年小学校

夜間中学校

3) 開発途上国にて、GPの適用性を検証

GP「子どもが作る昼食の日」



GP「運動会」



2) JICA等援助関係者と、ハンドブックGP集について意見交換

4) ハンドブックGP集の制作と援助関係者への配布

ウェブサイト掲載

ハンドブック
GP集

成果

ハンドブックGP集(和文・英文) → 援助関係者 → EFAの促進
→ 途上国関係者 →

日本の地方組織による就学奨励 グッドプラクティス(GP)の調査と 開発途上国への適用性検証

九州大学

背景

- ▶ 「万人のための教育」(EFA)の実現困難
- ▶ 地方分権化と地域アクターの創意工夫
- ▶ 日本のEFA実現経験は地方アクターの努力が大きい

活動の目的

- ▶ 日本の地方での就学奨励経験を開発途上国に紹介し、EFA実現への参考にしてもらう



兄弟姉妹の面倒をみる子どもが通える「子守学校」

活動実施者（8名）

- ▶ 日本教育史
- ▶ 日本教育行政
- ▶ 国際教育開発
- ▶ 国際協力
- ▶ 文化と開発

活動内容

- ▶ ① GP執筆
- ▶ ② GPの適用性・関連性検証
- ▶ ③ ハンドブック制作・配布(ウェブ)

活動内容① GP執筆

- ▶ 日本の就学・コミュニティ参加奨励策を抽出し、概要を執筆
- ▶ GPの種類

1. 日本近代化過程で実践されたもの
「子守学校」「女紅場教育」「製紙工場特別教育」「万年小学校」
「岡山孤児院」「夜間中学校」

2. 日本近代化過程で実践され、現在も続いているもの
「運動会」「学芸会」「学校給食」「識字学級」

3. 現代の日本で実践され始めたもの
「父親たちの課外教育活動」「子どもが作る昼食の日」



活動内容② 適用性検証

- ▶ 開発途上国(パキスタン・ガーナ)にて、GPの適用性を現地カウンターパート(NGO、大学)が検証



- ▶ 九大チームが現地訪問、関係者にヒアリングし、GPの適用性について更に情報を収集



活動内容③ ハンドブックの制作・発信

- ▶ JICA・コンサルタント等援助関係者と意見交換
- ▶ ハンドブックを制作(和文30部、英文70部)
- ▶ 関係者への配布、ウェブでの公開(メールマガジン等にて通知)

GPの提示の仕方

- ▶ GP1(運動会) School Sports Day
- ▶ 課題 → GP → 成果
- ▶ 【課題】(Issues)
近代的学校制度の不人気、旧来の村の秩序崩壊
- ▶ 【実施プロセス】(Implementation)
運営・内容、親の参加・幼児の参加、法的側面
- ▶ 【実施体制】(Actors Interaction)
- ▶ 【前提条件】(Preconditions)
- ▶ 【成果】(outcomes)
- ▶ 【普及状況】(Impact)
- ▶ 【教訓】(Lessons learned)
成功要因、阻害要因
- ▶ 【適用事例】(Application) (パキスタン北西辺境州)

今後の展望

- ▶ 検証の継続とフィードバック
- ▶ GPの実施支援
- ▶ 発信の仕方の工夫(ビジュアル等の工夫)
- ▶ 翻訳言語